

平成 20 年度 久留米支部研修会の報告

久留米支部 中田恵介

福建久留米支部では、現地技術研修会として 11 月 21 日に「九州新幹線」「一般国道 264 号（豆津バイパス）」「東合川野伏間線（街路）」の現場を約 20 名の参加を得て開催しました。

まず、「九州新幹線」の現場にて、鉄道建設・運輸施設整備支援機構久留米建設所の協力を得ながら、岡田所長より九州新幹線に関する一連の流れおよび概要を説明して頂きました。そこで、新幹線の効果として時間短縮はもちろんのこと、他の乗り物と比べ、エネルギー効率・二酸化炭素排出量などの環境面においても E C O となることを強調されていました。さらに、請負業者の清水・九鉄・松本 J V の現場監督の石本氏から、新幹線の久留米駅に関する工事説明をしていただきました。ここでは、在来線の線路を生かしながらの工事であるため苦労されているとのことでした。その後、新幹線の駅舎部分の工事現場を見せて頂き、色々この現場ならではの話を聞かせていただきました。

説明状況



現場見学状況



次に、「一般国道 264 号（豆津バイパス）」の現場では、現場事務所にて道路課建設係の山田主任技師より、今までの経緯および事業概要の説明を受けました。その後、現場にて今回施工をしている JR 鹿児島本線のアンダーパス部分の特殊工法「アール・アンド・シー工法」の工事についても詳しく説明して頂きました。この現場では、電車が通らない短い時間帯しか工事ができないという厳しい制約に苦労されているとのことでした。

説明状況



現場状況



最後に、「東合川野伏間線（都市計画道路）」の現場で、都市施設整備課の宮崎副長より事業概要の説明をして頂きました。供用開始をした箇所や、JR 久大本線のアンダーパス部分の施工状況を各現場にて説明を伺いました。ここでは、市道の2路線・JRの線路・国道322号の4路線をアンダーで計画しているところが特徴であり、それらの施工計画等が大変であるとのことでした。

説明状況



現場状況



以上、各現場では供用開始後では見られないような部分を見ることができ、貴重な経験となったのでは？さらにこの見学会で学んだことを仕事に活かしていただけたら幸いです。これにて久留米支部の活動報告といたします。